

ベーシックセッション フロー

フロー大	フロー小	内容	備考	心がけ
事前	アクセス傾向診断	【送】アクセス傾向診断URLを送信(ACAサイト内)	https://aca-japan.com/test-jp	セッションで出会うことに感謝 「させていただける場数」に感謝
	診断結果表送信	【送】診断結果URLを送信	https://aca-japan.com/kekka 開始10分前から時間をつくって診断結果表を読むことをすすめる 直前に読むとセッションの理解が早く、深まる	
導入 (つかみ)	挨拶	【自己紹介】	クライアント様は緊張状態 コーチが積極的に自己紹介、会話を進めていきましょう	ラポール(信頼関係)づくり 自然体 場が和むように ニーズを理解する
	ヒヤリング	【聞】このセッションの時間で期待していること、得たいこと 聞いた中で3つを聞き、その中でも一番を聞く 期待、得たいことに焦点を意識してセッションをする	期待、得たいことは思いつくことを言ってもらう その中で一番得たいことを聞く コーチはその一番上位の得たいことに意識をしてセッションを進める *人は自分が得たい!と知っていることを得られるときに満足度が高くなる	
コースタイム	利き脳診断説明 ホールブレイン	【話】利き脳診断(ホールブレイン診断)説明 ハーマンモデルの概要を話し、信頼と興味を持ってもらう □ 歴史、実績 □ 大企業で使われている □ 即効性がある 利き脳の概念を話す □ 手→利き手 無意識に使いやすい手 □ 脳→利き脳 無意識に使いやすい脳(焦点/考え方の傾向) □ 軸を持っている	傾向によってどの部分で信頼と興味を持つかをおおよそイメージしておく 例) Aが強い方:固有名詞、数字 Bが強い方:実績、伝統 Cが強い方:自分や人を深く知れる Dが強い方:未来、ワクワク	キーワード、数字を意識して わかりやすく、記憶に残るように伝える ☆話すスピード ☆残るキーワード ☆言葉遣い 縛る診断ではなく、活かすための診断 発見、自覚、自信につながる意識
	診断解説	【話】診断解説 診断結果を解説する ホールブレイン:35点以上のアルファベット(全15傾向)	点数だけで決めつけをしない。点数は上下するのが常である。傾向を知ろうとする。 クライアント様が意見してきた場合、否定しないで尊重する	
	利き感覚診断説明 VAK	【話】利き感覚(VAK診断)説明 人はみんな五感を持っている 三つの器官で情報のインプット、アウトプットを行っている □ V 視覚 □ A 聴覚 □ K 体感覚 初対面では出会った時、人を判断するときの判断材料がそれぞれ違う 優位感覚は疲れない、効率が高い、創意工夫が生まれる 学習、仕事、コミュニケーションに応用できる		
	診断解説	【話】VAK:点数が一番高いもの	点数だけで決めつけをしない。点数は上下するもの。傾向を知ろうとする。 クライアント様が意見してきた場合、否定しないで尊重する	
	問いかげ	【聞】解説を聞いて思ったこと 抽象→具体 漠然としていたら質問を通して具体的な事例まで聞く	診断の内容、結果解説を聞いてどんなことを感じたか、考えたかを聞いていく クライアント様は自分で話すことで、頭の中を整理し、考えを深めていく	
まとめ	内容振り返り	【話】キーワード(ホールブレイン診断/VAK診断)	記憶の定着のために、キーワードで振り返りをする	ご縁があったことに感謝 さらにサポートできることを知る
	アフターヒヤリング	【聞】この時間がどんな時間だったか □ 学んだこと □ 感じたこと □ 気づいたこと	このセッションを受けての感想を聞いてみる 人は自分の言葉で話すことによって印象、学習、記憶が深まる 感想キーワードをセッション後、送信をする(できれば) →感想シート作成をする際の手助けになる	
	案内	【話】		
事後	感想フォーム送信	【送】振り返りキーワード/感想キーワード/感想フォームURL	https://forms.gle/eiqtPjAd7Cb7kK9r5	次回のご縁につなげる
	案内送信			